



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月10日

上場会社名 株式会社ダイオーズ 上場取引所 東
 コード番号 4653 URL http://www.daiohs.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 稲垣 賢一 TEL 03-3438-5511
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	18,942	19.9	1,330	14.7	1,336	4.2	826	4.2
27年3月期第3四半期	15,805	10.8	1,159	△1.1	1,282	1.8	792	6.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 846百万円 (△45.6%) 27年3月期第3四半期 1,555百万円 (30.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	61.47	—
27年3月期第3四半期	59.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	15,656	11,403	72.8	848.51
27年3月期	14,556	10,825	74.4	805.54

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 11,403百万円 27年3月期 10,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成27年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 5円00銭

平成28年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 8円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,199	11.4	1,863	22.0	1,836	10.6	1,148	9.1	85.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	13,439,142株	27年3月期	13,439,142株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	40株	27年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	13,439,115株	27年3月期3Q	13,427,997株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において当社グループは、以下のような施策を実行しました。

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

① 国内部門

中国経済をはじめとして世界的に経済が減速傾向にあるとの見方が強くなっておりませんが、当第3四半期における国内部門の業績は順調に推移しました。

当期は国内部門における第2期中期計画の2年目にあたり、5期前よりスタートさせた、「エリア担当制営業管理システム」、「拠点運営の標準化」、「既存顧客別管理システム」という中心的戦略が熟成された結果、様々な経済環境にも耐えうる成長システムが完成の域に近づいております。

販促活動は例年通りの規模ではありましたが、飲料関連、環境関連の全商品群に於いて、新規顧客件数が増加し、既存顧客の解約件数は減少しました。

その結果、売上高は77億20百万円(前年同四半期比10.0%増)となり、第3四半期における5期連続の増収を達成しました。また営業利益についても7億14百万円(前年同四半期比10.7%増)と4期連続の増益となり、売上高、営業利益、共に第3四半期における過去最高となりました。

さらに全拠点が前年同四半期の売上高を上回る業績を継続しており、加盟店への出荷売上高も順調に増加傾向にあることから、中期計画については今期末時点に於いて1年前倒しにて達成できる見込みとなりました。

② 米国部門

米国のマクロ景気は当第3四半期末までの期間は堅調に推移し、全米平均失業率も当第3四半期末時点で5.0%と前年同四半期末の5.6%と比べて0.6ポイントも改善し、米国としてはほぼ完全雇用に近い水準まで到達しております。一方、国際的な原油価格の大幅下落に伴い、シェールオイル産業などの影響が大きいテキサス、オクラホマ両州では局地的に雇用環境悪化が起きており、米国内でも業種、地域による景況感格差が広がりました。

このような環境下において、米国部門では5月のペンシルバニア州ピッツバーグ支店、オハイオ州コロンバス支店を始めとして、8月にニューメキシコ州アルバカーキ支店を、10月にフロリダ州タンパ支店、同州オーランド支店をそれぞれM&Aを通じて開設いたしました。その他の既存拠点においても、テキサス、オクラホマなどの石油産業集積地区を除けば堅調に売上が推移した結果、売上高は113億19百万円(前年同四半期比27.7%増、ドルベースでは12.8%増)となりました。

利益面ではコーヒー生豆相場下落に伴い仕入原価低減効果などがあった一方で、既存拠点での売上増加を狙った新規顧客開拓費用の増加もあり、営業利益は7億7百万円(前年同四半期比で20.5%増、ドルベースでは6.4%増)の増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は189億42百万円(前年同四半期比19.9%増)、売上総利益は107億71百万円(前年同四半期比18.3%増)、営業利益は13億30百万円(前年同四半期比14.7%増)、経常利益は13億36百万円(前年同四半期比4.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億26百万円(前年同四半期比4.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は156億56百万円で、前連結会計年度末比10億99百万円増加となりました。

流動資産は74億35百万円で、前連結会計年度末比6億10百万円増加となりました。これは主に「現金及び預金」が3億43百万円、「売掛金」が2億9百万円増加したことによるものです。固定資産は82億20百万円で、前連結会計年度末比4億89百万円増加となりました。これは主に「工具、器具及び備品」が3億31百万円、「レンタル資産」が1億84百万円増加したことによるものです。

負債合計は42億52百万円で、前連結会計年度末比5億22百万円増加となりました。これは主に「短期借入金」が4億53百万円、「未払法人税等」が98百万円減少した一方で、「1年内返済予定の長期借入金」が2億60百万円、「長期借入金」が9億6百万円増加したことによるものです。

純資産合計は114億3百万円で、前連結会計年度末比5億77百万円増加となりました。これは主に「利益剰余金」が5億57百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月15日に公表しました平成28年3月期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,557,883	2,901,354
売掛金	2,348,323	2,557,644
リース投資資産	295,285	321,789
商品及び製品	1,052,022	950,304
仕掛品	5,583	4,209
原材料及び貯蔵品	99,398	113,488
繰延税金資産	166,165	137,549
その他	322,530	471,766
貸倒引当金	△21,908	△22,310
流動資産合計	6,825,284	7,435,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	566,871	568,388
機械装置及び運搬具(純額)	390,640	417,217
工具、器具及び備品(純額)	1,807,813	2,139,275
レンタル資産(純額)	973,176	1,157,419
土地	692,163	692,471
建設仮勘定	40,923	34,479
有形固定資産合計	4,471,589	5,009,251
無形固定資産		
のれん	282,169	196,088
顧客関連資産	2,101,718	2,215,305
その他	54,556	62,178
無形固定資産合計	2,438,444	2,473,573
投資その他の資産		
投資有価証券	246,341	233,515
繰延税金資産	150,078	100,533
その他	444,199	422,796
投資損失引当金	△19,391	△19,391
投資その他の資産合計	821,227	737,453
固定資産合計	7,731,261	8,220,278
資産合計	14,556,545	15,656,074

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	556,373	514,265
短期借入金	1,547,836	1,094,270
1年内返済予定の長期借入金	—	260,517
未払法人税等	139,876	41,610
未払費用	383,579	370,999
賞与引当金	175,178	95,077
その他	619,153	639,579
流動負債合計	3,421,998	3,016,320
固定負債		
長期借入金	—	906,786
繰延税金負債	53,276	57,859
資産除去債務	35,491	37,530
その他	219,977	234,362
固定負債合計	308,745	1,236,538
負債合計	3,730,743	4,252,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,135	1,051,135
資本剰余金	1,129,434	1,129,434
利益剰余金	7,920,256	8,477,597
自己株式	—	△46
株主資本合計	10,100,826	10,658,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,698	7,001
為替換算調整勘定	718,276	738,093
その他の包括利益累計額合計	724,974	745,095
純資産合計	10,825,801	11,403,216
負債純資産合計	14,556,545	15,656,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	15,805,019	18,942,460
売上原価	6,699,549	8,170,934
売上総利益	9,105,469	10,771,525
販売費及び一般管理費	7,945,944	9,441,238
営業利益	1,159,525	1,330,287
営業外収益		
受取利息	258	2,992
受取配当金	10,113	11,150
仕入割引	17,801	18,123
為替差益	96,406	238
債務勘定整理益	11,059	7,144
その他	4,559	11,599
営業外収益合計	140,198	51,248
営業外費用		
支払利息	9,450	23,513
持分法による投資損失	8,061	21,409
その他	72	49
営業外費用合計	17,585	44,973
経常利益	1,282,138	1,336,563
特別利益		
固定資産売却益	3,030	5,297
特別利益合計	3,030	5,297
特別損失		
固定資産売却損	17	1,240
固定資産除却損	16,585	694
特別損失合計	16,602	1,934
税金等調整前四半期純利益	1,268,566	1,339,926
法人税、住民税及び事業税	509,462	430,024
法人税等調整額	△33,664	83,778
法人税等合計	475,798	513,802
四半期純利益	792,768	826,123
親会社株主に帰属する四半期純利益	792,768	826,123

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	792,768	826,123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,558	303
為替換算調整勘定	765,306	19,061
持分法適用会社に対する持分相当額	134	755
その他の包括利益合計	762,882	20,120
四半期包括利益	1,555,650	846,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,555,650	846,244
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,940,749	8,864,270	15,805,019	—	15,805,019
セグメント間の内部 売上高又は振替高	80,071	—	80,071	△80,071	—
計	7,020,820	8,864,270	15,885,090	△80,071	15,805,019
セグメント利益	645,866	587,418	1,233,284	△73,758	1,159,525

(注) 1 調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,622,675	11,319,784	18,942,460	—	18,942,460
セグメント間の内部 売上高又は振替高	98,244	—	98,244	△98,244	—
計	7,720,919	11,319,784	19,040,704	△98,244	18,942,460
セグメント利益	714,956	707,577	1,422,533	△92,245	1,330,287

(注) 1 調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。